



## 過去と他人は変えられない。しかし、 自分と未来は変えられる。

(エリック・バーンの言葉より)

出来なかったことや困難なことを、つい、他人や周りのせいにして、道が開けないことを悔やむ。そんな経験はありませんか。『論語』にも、次のような言葉があります。

「君子はこれを己おのれに求め、小人はこれを人しょうじんに求む。」

(優れた人物は原因や責任を自分に求めて反省するが、度量どりょうの小さな人物はそれを他人に押しつける。)

過去と他人は変えられないが、今ここから始まる未来と自分は変えられる。これは、自分の言い方や考え方一つで、相手も、周りも、結果的に変わってくれ、未来もより良く変えることができるということを表しています。では、どうすれば自分や未来を変えることができるのでしょうか。

### ① 人の力をお借りする。

自分一人で物事を進めようとする、目標設定も小さくなる。不可能と思われることでも、人の力を借りれば、1パーセントの可能性は残っているもの。一人でくよくよせず、多くの人を仲間と思って力を借りれば、力が何倍にもなる。

### ② 目的を決めて、目標を設定する。

目標を決めるとき、「何を大切にするか、そのために何を捨てる勇氣があるか」「何のためにこの目標があるのか」ということが大切。

(「自分と未来は変えられる」より)

もし、過去に悔やまれることがあったとしても、その時点では正しいと思った選択だったのです。嘆く必要はありません。今の自分の現実をすべて受け入れた上で、「いま大切なこと＝目標」に勇氣をもって取り組み、未来は必ずもっと良い方向に変わっていきます。

今日から、期末テストが始まりました。一人でなく、先生方や家族の力もお借りしながら、自分にとって「いま大切なこと」に一生懸命頑張りましょう。仲間とともに。

## 今、進路を考えるとき

先日、県内の公立高校と私立高校の平成 31 年度入学定員が発表されました。高校入試もいよいよ現実的になり、3年生にとってはこれからの4か月が正念場です。この時期に、自分の将来の夢や希望に沿った進路を選択することはとても大切なことです。

3年生だけでなく2年生も、職場体験学習(11月5日～9日)を通して学んだことを、これからの学校生活や進路選択に生かしてください。1年生も、1年後、2年後を見すえて、自分の将来について今からしっかりと考えていきましょう。



高校説明会(3年)の様子▶